

| | | |
|---------|------|--|
| 2025 年度 | 科目名 | 教育相談特論 |
| | 英語名 | Advanced Seminar on School Counseling and Guidance |
| | 科目属性 | 専門科目 A 群 |
| | 担当教員 | 土岐 玲奈 |
| | 単位数 | 2 単位(SC 0.5 単位) |

【授業の目的・ねらい】

学校で子どもたちが直面する問題は多様化・複雑化してきており、教育相談、生徒指導、特別支援教育といったそれぞれの枠組みを超えた柔軟な手立てが求められるようになってきている。現代の子どもたちが抱える問題や、教師が会うさまざまな問題に対して、どう捉え、どのような方法で働きかけることができるかを多角的な視点から検討していく。

この授業の具体的な到達目標は、以下の3つである。1

- 1 子どもの問題行動の理解と支援を学ぶ
- 2 学校カウンセリングの理論を学び、適切に活用できるようにする
- 3 不登校やマイノリティの子どもが抱える困難と、対応について学ぶ

【授業計画】

全 15 回の授業計画は以下のとおりである。

- 第 1 回 学校教育における教育相談のあり方について考える
- 第 2 回 「話を聴く」ことについて学ぶ
- 第 3 回 子どもの声を聴くことについて学ぶ
- 第 4 回 子どもの発達と発達課題について学ぶ
- 第 5 回 学校教育の意味と意義について考える
- 第 6 回 学習支援について教育相談の観点から考える
- 第 7 回 マイノリティの子どもの支援について学ぶ
- 第 8 回 学校外での学びについて知る
- 第 9 回 学校の欠席と福祉的課題について学ぶ
- 第 10 回 子どもの問題行動とその対処について学ぶ
- 第 11 回 支援者と被支援者の関係について考える
- 第 12 回 子どもの貧困問題について学ぶ
- 第 13 回 子どもの性と性教育について学ぶ
- 第 14 回 教育相談と福祉の関わりについて考える
- 第 15 回 支援者のメンタルヘルスについて考える

【評価方法】

「スクーリング評価(事前課題を含む)」(30%)、「レポート評価」(30%)、「科目修得試験」(40%) の割合で総合して評価する。

【教科書】

1. 三井さよ(2018)『はじめてのケア論』有斐閣. ISBN: 978-4641150607
2. 角田豊(2020)『学校臨床力を磨く事例検討の進め方』創元社. ISBN:978-4422120706

【参考図書】

1. 近藤 雄生・岸本 寛史(2023)『いたみを抱えた人の話を聞く』創元社. ISBN:978-4422118123
2. 村中 直人(2020)『ニューロダイバーシティの教科書』金子書房. ISBN:978-4760830428
3. 河合隼雄(1992)『子どもと学校』岩波書店. ISBN: 978-4004302124
4. 保坂亨(2024)『学校と日本社会と「休むこと」』東京大学出版会. ISBN:978-4130530972
5. 金春喜(2020)『「発達障害」とされる外国人の子どもたち』明石書店. ISBN:978-4750349725
6. 村山正治・中田行重編著(2012)『新しい事例検討法 PCAGIP 入門』創元社. ISBN:978-4422115436
7. 戸谷 洋志(2024)『生きることは頼ること』講談社. ISBN: 978-4065369890
8. 浅井春夫(2020)『包括的性教育』大月書店. ISBN: 978-4272412587
9. 村中直人(2024)『ラーニングダイバーシティの夜明け』日本評論社. ISBN: 978-4535587922